

募集要項

募集内容	●日本語自由句部門 ●英語自由句部門 ●日本語課題句部門 ●英語課題句部門 お題「海」を写真または俳句で連想させるものを募集。 ※海を連想させる島・砂浜・船・港・風景・人々など幅広く含む。 課題写真1～12に対して、日本語または英語の俳句のみ募集		
募集方法	WEBから応募フォームに必要事項を記入し、写真俳句作品といっしょに投稿してください。 日本語作品のみ、郵送でも受け付けます。日本語自由句は写真の裏に応募票を貼付してご応募ください。 日本語課題句は必要事項を記入した応募票を1作品につき1枚お送りください。		
応募先	全部門 WEB応募先 第11回 瀬戸内・松山国際写真俳句コンテスト 公式HP http://matsuyamahaiku.jp/contest/	日本語作品の郵送による応募先 〒790-0003 松山市三番町3-9-3 K-13ビル5F 松山はいく事務局	
応募締切	2022年1月11日(火) ※郵送の場合当日必着		
審査員	●日本語作品 森村誠一(作家・写真俳句提唱者)、夏井いつき(俳人・俳句集団「いつき組」組長) ●英語作品 デビッド・マクマレイ(国際俳句コラムニスト・鹿児島国際大学教授)、キット・ナガムラ(国際俳人・写真家・エッセイスト)		
発表	2022年3月 入賞・入選作品は、作者本人に連絡し、その後コンテスト特設webサイト上にて発表します。		
賞品	●日本語自由句部門……………最優秀賞1点 3万円分相当品 ・優秀賞2点 3千円分相当品 ●英語自由句部門……………最優秀賞1点 3万円分相当品 ・優秀賞2点 3千円分相当品 ●日本語課題句部門……………最優秀賞1点 1万円分相当品 ・優秀賞2点 3千円分相当品 ●英語課題句部門……………最優秀賞1点 1万円分相当品 ・優秀賞2点 3千円分相当品		

応募上の注意 入賞・入選作品の著作権は作者に帰属いたします。ただし、入賞・入選作品は主催者の作成する印刷物やWEB・SNS上で発表されることがあります。あらかじめご了承ください。

- 自由句部門
- ①応募は写真・俳句ともに自作・未発表のもの、著作権を本人が有しているものに限ります。
- ②人物が写っている作品については、撮影・応募に関する承諾を応募者が責任を持つ形でご提出ください。
- ③応募点数の上限は設けません。
- 課題句部門
- ①課題写真に対して俳句のみ募集します。
- ②応募点数は課題写真1点につき、お一人様1点まで。
(課題写真すべてにご投句いただいた場合、お一人様の投句上限は12句となります。)
- ③自作・未発表のものに限りません。
- ④課題写真の番号を間違えないようにご注意ください。

「瀬戸内・松山国際写真俳句コンテスト」における英語俳句のスタンダードルール

- ①三行詩であること ②季語はあってもなくても良い ③文節数に制限を設けない

ご注意いただきたいこと

- ①応募時に作者氏名(本名)・国名と都道府県名・電話番号・メールアドレスを明記してください。
これらの情報が判読不可能な場合、審査対象から外されることがございます。
- ②受賞をお知らせする電話もしくはメールで、作者ご本人との連絡がとれなかった場合、入賞を取り消されることがございます。

■個人情報取り扱いについて…ご応募いただいた方の個人情報は、作品の選考や連絡および賞品の発送のために使用します。応募者ご本人の許可なくコンテストに関する業務以外には使用いたしません。
また許可なく第三者に開示することはありません。入賞作品につきましては、事前に通知後、作品発表のために、作者名(番号または本名)・国名・都道府県名を公表させていただきます。 ※募集要項に反する行為があった場合は、入選の取り消しや公式HP等への不掲載を原則に、主催者が対応を判断します。

問い合わせ先 〒790-0003 松山市三番町3-9-3 K-13ビル5F
松山はいく事務局 TEL:089-945-6445 (平日のみ10:00～17:00)
メール:matsuyamahaiku@bsec.jp

瀬戸内・松山国際写真俳句コンテスト
<http://matsuyamahaiku.jp/contest/>

第11回 瀬戸内・松山国際写真俳句コンテスト応募票				
いずれかに○	日本語自由句	・	日本語課題句	課題写真番号()
フリガナ 作者氏名(本名)				
フリガナ 番号		国名		都道府県名
電話番号	※必ず本人と 連絡が取れる番号	メールアドレス		
フリガナ 俳句(楷書で)				

※複数の場合はコピーして、応募写真の裏面に貼付してください。

瀬戸内・松山
国際写真俳句
コンテスト▶



瀬戸内・松山国際写真俳句コンテスト
制作物監修:愛媛大学ルース・バージン

第11回 瀬戸内・松山 国際写真俳句コンテスト 作品募集

「写真で記録、俳句で記憶」写真俳句を楽しもう!

旅先からの絵葉書にひと言添えるように、写真に5・7・5の句を詠んでみましょう。
季語にとらわれず、気軽にできる「写真俳句」。とっておきの情景をお送りください。

応募締切

2022年1月11日(火)

募集内容

※募集要項は裏面をご覧ください

日本語・英語自由句、日本語・英語課題句

審査員



作家・写真俳句提唱者
森村誠一

1933年埼玉県生まれ。青山学院大学卒業後、9年間余のホテルマン生活を経て作家活動に入る。『高層の死角』第15回江戸川乱歩賞受賞、『腐蝕の構造』第26回推理作家協会賞受賞、『人間の証明』第3回角川小説賞受賞。数多くのベストセラー作品を著し、本格派推理小説の世界で不動の地位を築く。2003年第7回日本ミステリー文学大賞受賞。ミステリーを中心に、歴史小説、ノンフィクションなど多岐にわたる分野で活躍。その著作は400冊を超え、近年は提唱する「写真俳句」も話題を呼んでいる。
森村誠一公式サイト: <https://morimuraseiichi.com/>



国際俳句コラムニスト・鹿児島国際大学教授
デビッド・マクマレイ

俳号マック。朝日カルチャーセンター通信講座「英語で俳句を楽しもう」担当。1995年から2週間に一度更新され続けている「朝日新聞・朝日ハイクイスト」俳句コーナー主宰者。鹿児島国際大学国際文化学部教授「国際俳句」担当。査読学術論文に「日本人と西洋人の写真俳句の比較研究」「大統領の俳句」「気候変化が俳句を変える」など。朝日ハイクイスト・ネットワーク: <http://www.asahi.com/ajw/special/haiku/>



俳人・俳句集団「いつき組」組長
夏井いつき

1957年生まれ。松山市在住。8年間の中学校国語教諭の後、俳人へ転身。「第8回俳壇賞」受賞。創作活動に加え、俳句の授業「句会ライブ」、「俳句甲子園」の創設にも携わる。TBS系「プレバト!」俳句コーナー出演。テレビ・ラジオでも活躍。松山市公式俳句サイト「俳句ポスト365」、朝日新聞愛媛県連など選者。2015年より初代俳都松山大使。2021年NHK放送文化賞。句集『伊月集龍』(朝日出版社)、『子規365日』(朝日新聞出版)、など著書多数。夏井いつき公式サイト: <https://www.natsui-company.com/>



国際俳人・写真家・エッセイスト
キット・ナガムラ(課題1～5の写真撮影者)

国際的に活躍する俳人であり、写真家、旅行ジャーナリスト。20年間にわたり、ジャパントナイズのコラム「バックストーリー・ストーリーズ」の執筆と写真撮影を担当。3年間、NHK「世界の俳句名人」シリーズで共同司会を務め、東京の芭蕉記念館では俳句についての講演を行っている。最近では、夏のスポーツをテーマにした俳句集『グリッド・グレース・アンドゴールズ』(講談社、2020年)を出版。

第10回 最優秀作品

日本語自由句最優秀賞



冬天の先にふるさと母となる
大内田芳乃

日本語課題句最優秀賞



秋澄むや千年先も米の国
あまぶ

英語自由句最優秀賞



rippling waves
you teach me how
to film the wind
Debbie Strange

英語課題句最優秀賞



sitting together
we share a quiet moment
in different dreams
John Hawkhead

問い合わせ先

松山はいく事務局 ☎089-945-6445(平日のみ10:00～17:00)
〒790-0003 松山市三番町3-9-3 K-13ビル5F

瀬戸内・松山国際写真俳句コンテスト <http://matsuyamahaiku.jp/contest/>

主催

松山はいく運営委員会、松山市

協力

朝日新聞社、朝日カルチャーセンター

俳句ポスト365

<http://haikutown.jp/post/>

松山市が運営する、俳句の投稿サイト。
隔週で新しいお題(兼題)が出される。

第11回 瀬戸内・松山 国際写真俳句コンテスト課題写真

応募締切 2022年1月11日(火)

広島～瀬戸内海～松山の風景 (課題1～5)



課題1 道後温泉の裏通り
(愛媛県松山市)



課題2 興居島のサギ
(愛媛県松山市)



課題3 粟井川の三角洲にて
(愛媛県松山市)

松山市の 観光交流 都市等 (課題6～12)



課題6
鷹取山 摩崖仏
(神奈川県横須賀市)



課題7
世界一しあわせな動物「クオッカ」
(埼玉県東松山市)



課題8
法起寺の夕景
(奈良県斑鳩町)



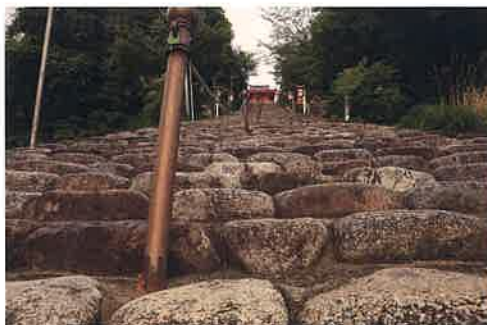
課題9
新宿区登録史跡「林芙美子終焉の地」
(新宿区立林芙美子記念館)
(東京都新宿区)



課題10
熊本城天守閣完全復旧
(熊本県熊本市)



課題4 飛行機工作士
(愛媛県伊予市)



課題5 伊佐爾波階段を見上げて
(愛媛県松山市)

瀬戸内・松山で開催するにあたって

写真俳句の遠祖は自作の句と画を合体(ジョイント)した無村といつてよい。今日、携帯電話が普及して誰でも常にカメラを携帯している。句材、句境をカメラにおさめて起句すれば凡写凡句でも一体となって立ち上がる。一種の黒変(化学変化)である。そして速やかに上達する。写真に季節、季節を語らせてもよい。恋人同士の間で、写真を付けた「相聞句」を交わせば、恋文が文章を驚異的に上達させるように、新たな句界が展開する。室町に発し、江戸期の隆盛、混乱を経て伝統文芸俳諧を今日の俳句につなげた俳句革新の祖、正岡子規の生地・松山は、俳句の聖地でもある。この地における写真俳句は、子規が重んじた無村を超える名句秀句を誕生(そうせい)させ、松山を世界に向けての新たな表現文化の発信地とするであろう。

作家・写真俳句提唱者 森村誠一



課題11
水面に映る逆さ広島城
(広島県広島市)



課題12
古
(愛知県犬山市)